

出演団体

- 山陰久佐松竹座(浜田) ●市民演劇集団「ドリームカンパニー」(益田)
- 石見国くにびき18座(江津・浜田・益田) ●大田市劇団サークル劇研「空」(大田)
- 明誠高等学校演劇部(益田) ●演劇ユニット 演戯人(江津・浜田・益田)
- NPO法人創作てんからっと(浜田) ●浜田高等学校演劇部(浜田)

極東国立芸術大学演劇学部 (ロシア連邦)

演劇で結ぶ
ウラジオオと石見

ウラジオストク

石見

石見演劇 フェスティバル

平成29年 2月5日(日) 開演9:00

石央文化ホール(大ホール) 浜田市 黒川町

【入場料】一般前売 1,000円(当日 1,300円)・高校生以下無料

プレイガイド
【浜田】石央文化ホール、浜田市教育委員会文化振興課、教育委員会金城分室、教育委員会旭分室、弥栄支所防災自治課、三隅支所防災自治課、みずほ楽器、ブックセンタージャストラ・ペアーレ浜田、つつみ、サン・ビレッジ浜田、浜田市世界子ども美術館、石正美術館
【江津】グリーンモールインフォメーション、江津市総合市民センター【益田】いわみ芸術劇場グラントワ

前売券
11/20(日)
発売

主催/石見演劇フェスティバル実行委員会

共催/公益財団法人浜田市教育文化振興事業団 石央文化ホール 助成/しまね文化ファンド、(公財)ごうぎん島根文化振興財団

後援/浜田市、浜田市教育委員会、大田市教育委員会、江津市教育委員会、益田市教育委員会、NHK松江放送局、TSK山陰中央テレビ石見ケーブルビジョン株式会社、日本海テレビ、山陰中央新報社、読売新聞浜田支局、中国新聞社、朝日新聞松江総局、毎日新聞松江支局

【お問合せ】石見演劇フェスティバル実行委員会(石央文化ホール内) TEL0855-22-2100

特別
出演

● 特別出演 極東国立芸術大学演劇学部(ロシア連邦)

演目/窓から野原の見える家 作/アレクサンドル ヴァムピエロフ

地理教師トレチアコフは、小さな村に赴任し3年間教壇に立っていたが、街の学校へ異動が決まる。村を去る前に、アスタフエワという女性の家を訪れ別れの挨拶をしようとするが、彼女は、トレチアコフが密かに思いを寄せていた女性だった。街へ行くバスの出発はもう間もなく。しかし、アスタフエワが様々な質問を浴びせてくるうちに、彼女の家の周辺には偶然村人が集まり始める。自分の家から男性が出ていく姿が目撃されると、悪い噂が立ってしまう…。そうアスタフエワに引き止められたトレチアコフは、なかなか彼女の家から出られない。果たしてトレチアコフは、バスに乗って村を去って行くのか。それとも…。脚本は、旧ソ連時代に執筆されました。お互いの気持ちを隠しながら繰り広げられる、男女の複雑な会話をお楽しみください。

● 山陰久佐松竹座(浜田)

演目/関取千両幟(1~3場)

江戸の力士と浪花の力士。年に一度の大場所に、東西力士の晴れ土俵。どっとのぼった大人気。五反幟や十反幟、立った幟が一十本。名付けてこれが千両幟。中でも名におう稲川部屋の四天王の一人で、今売り出しの人氣者、千田川の留吉が、病に倒れ宿で治療中。その宿に哀れな姿の旅人が来て、宿の亭主との押し問答。また、留吉の看病にあたる松吉は、お金を工面するために芸者として二度目の身売りをするまでの、笑いあり、涙ありの1~3場までとなっています。

スタッフ/監督:清本 政伸、柁:山本 健司、大道具・小道具:松竹座座員一同
化粧:松竹座座員関係者
キャスト/美濃岡輝繁、松岡 賢司、清本 政伸、川本 哲弘、植田 節雄
古城 満秀、三澤 正司

● 市民演劇集団『ドリームカンパニー』(益田)

演目/ささやかな さよなら 原作・脚本・演出/大畑 喜彦

鈴木庄吉という老人が、アパートの浴室で死んだ。死後1週間たった。庄吉は生前同じアパートに住む高木亮介に言っていた。「もし私に万が一の事があった時には、後の事はお願いします」と。また同様に庄吉は同じ職場の社員・南条絵梨にも同様なお願いをしていた。庄吉の葬儀の日二人は斎場で出会う。そしてそこで二人は自分たちの知らなかった庄吉の事実を知ることになる。誰も引き取り手のいない庄吉の遺骨に、高木と絵梨はささやかな別れを告げる…。現代社会に生きる孤独な人々の織りなす人間模様。市民演劇集団『ドリームカンパニー』が“生きる哀しみ”を“優しい眼差し”をそそいで描くオリジナル作品。

スタッフ/青山 靖之、石川 和浩、大谷 光子、大庭 耕平、表田亜希子
表田 元紀、坂本 優、佐々木葉子、島田 哲朗、田中 英二
内藤 陵、中川 和彦、長島 秀司、長瀬 明子、長瀬 英雄
村上 哲也、松本 学、椋 美佐子、村上 彩音、両見 明子
キャスト/森下 高博、青木香奈絵、大谷 政裕、水津 綯枝、内藤みどり
青木 美景、寺戸 琴音、塩道 祐恵

● 石見国くにびき18座(江津・浜田・益田)

演目/この道をつないで 作・演出/金田サダ子

人々の記憶の中のみ存在する幻の国家、満州国。この国を思う時、限りなく熱く切ない思いが重なる。王道楽土の満州へ、五族協和の満州へ、夢の新天地満州へと送り出された人々が、やがて石持で追われなければならない運命をたどることになってしまう。それでも人々は、この過酷な運命を受け入れ、世代を超えて懸命に生きようとするのです。

この物語は、私たちの願い「戦争によって崩れてしまった道、途切れてしまった道を再びつないでほしい。かつて互いに尊重し合っていた心を取り戻し、未来に希望の道を通じることを願う」そんな思いを込めた「道の物語」であります。

キャスト/大賀 初義、小幡スミ子、金田サダ子、金田 健男、佐々木洋子
塩田 禎子、篠田 一義、澄川 雅是、酢矢藤公子、千代延公敏
中村 征雄、平野 香苗、本田カズエ、山野 忠臣、山本 紀子

● 大田市劇団サークル劇研「空」(大田)

演目/朗読劇「吉川経家最後の手紙」 作/洲浜昌三

一福光不言城の子どもたちへー

大田市福光に「不言城」があります。城主・吉川経家は、毛利氏から鳥取城の城番を命じられますが、秀吉は大軍で鳥取城を包囲、「渴え殺し」作戦にでます。城内には4千人の兵士や農民、餓死寸前です。さあ、経家は どうしたでしょう。「郷土の歴史、文化の掘り起こしと再創造」を目標の一つにしている私たちは、今回朗読劇で挑戦します。

キャスト/渡利 章子、松本 領太、堤 浩隆、山本 和之、三井 守
田中 和子、吉川 礼子、若狭 雅子、洲浜 昌三

● 明誠高等学校 演劇部(益田)

演目/鳥根の話。 作/村上彩音

「古事記」:こじき、またはふることぶみ。日本最古の歴史書で、神代における天地の始まりから、推古天皇の時代にいたるまでの神話や伝説が記載されている。

「風土記」:地方の文化や風土が記載されている。神話といえば出雲の国に注目が集まりがちだが、鳥根のあちこちに物語は散りばめられている。それは石見も例外ではない。

スタッフ・キャスト/明誠高等学校 演劇部

● 演劇ユニット 演戯人(江津・浜田・益田)

演目/海風に誘われて 作/竹本健二郎

海沿いにある民宿「うみかぜ」の古株の従業員である誠は女将の恵に恋をしているが、恵は別れた娘のことを考えており、なかなか思いは伝わらない。そんななか、新しく雇ったアルバイトの渚は恵が手放した娘かもしれないという疑惑が浮かぶ。余計な一言が多い従業員の裕子と余計な行動の多いアルバイトの翔太と共に、恵と渚の仲を直そうと奔走する誠。果たして、恵と渚は仲直りできるのか。誠の恋の行方は?

スタッフ/永田 静香、浅田 茂人
キャスト/吉田 悦子、住田 敏樹、藤原 陽子、竹本健二郎、佐々木かおり
宿利 文哉、大羽健太郎、安井 好宏、吉田登代子、永田 桃花

● NPO法人創作てんからっと(浜田)

演目/大晦日のペテン師たち 作/美崎 理恵

時は昭和の大晦日。あと一時間もすれば新年がやって来るというのに劇作家の甲本は戯曲を書いている。尊敬するロシアのチェーホフの作品「ワーニカ」を原案とした一人芝居だ。締切は本日、大晦日。すぐ横には興行主の長崎と甲本を取り巻く様々な人々書き上がるのを今か今かと待ちかまえている。甲本は嘆く。「ああ、もっと時間がほしい、時間が……」

—— チクタクチクタクと時計の針が時を刻んでいた時代。時間を操ることなんてできないのに、操ったつもりになった人々。新年を前に、彼らが「ワーニカ」という作品と共に導き出した答えは……。

スタッフ/演出:石原 弘恵、装置:岩町 功、道具:田中 栄二
衣裳:服部富士美、仁科 直美、製作:藤田 雅史
キャスト/田中 康夫、石原 弘恵、岩上 弘史、仁科 直美、三輪 彩音
浅田 茂人、藤田 雅史、岩町 功、服部富士美、田中 栄二

● 浜田高等学校演劇部(浜田)

演目/我こそが名探偵である! 作/茅野まゆえ

あるお屋敷に忍び込んだ泥棒3人。金目の物を盗んで帰ろうと思った矢先、金魚鉢を落としてしまう。お屋敷のお嬢様に侵入がばれてしまい、とっさに自分たちは探偵だと嘘をつく3人だったが、本物の名探偵を呼ばれてしまった…。さて、この後どう展開するのかお楽しみに。

今回の演劇フェスティバルでは、人と人との絆について深く考えさせる劇や重いテーマを扱った劇が多いなか、本校の劇は皆さんに気軽に見ていただけるエンターテインメントです。能の合間の狂言と受け取って楽しんでいただければ幸いです。

スタッフ/演出・舞台監督:浜田高等学校演劇部
照明:藤井 美玖、音響:藤田聖玲菜
キャスト/工藤 希、竹崎 日菜、中西 萌音、大埜 和音、玉田 彪治